



■ 都草講座（旧古文書講座）

2月7日と24日の両日、都草講座を開催しました。元京都市歴史資料館の伊東宗裕先生に在職の頃から講師をお願いし、古文書講座を12年間開催してきました。今年は古文書を読んだことがない方にも崩し字に親んでもらえること、それと同時に江戸時代に出版された名所図会類に興味を持ってもらえることを目標に、名称も「都草講座」と変更しました。

テキストは『都名所図会(1780年刊行)』と『花洛名勝図会(1864年刊行)』、時期の異なる二つの名所図会から同じ「名所」を取り上げて、両者を比較することで江戸時代後半の京都を学んでみようという試みでした。

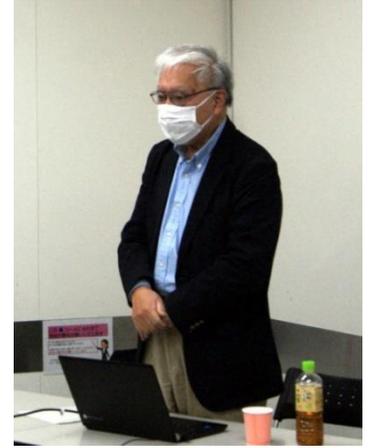
途中、実際に崩し字を今の文字に書き直すワークショップを行い、最後は答え合わせを兼ねて崩し字を一文字一文字詳しく解説していただき、内容盛りだ



くさんの講座となりました。

都草で開催する古文書講座はこれで終わります。古文書に触れる機会は今後もあると思いますので、少しずつ「崩し字」に親んでいただければ幸いです。長い間、聴講ありがとうございました。これまで様々なオリジナルテキストを用いて「崩し字」の魅力を伝えて下さった伊東先生には心から感謝しております。

(副理事長 松枝 しげ美)



■ 三井ガーデンホテル街中ツアー



都草の法人会員である三井ガーデンホテルから、宿泊客を対象とした、週1回の市内中心部を1時間半で巡るツアーの依頼がありました。双方で打ち合わせをした結果、出発と帰着を京都経済センターにし、四条通を挟んで南コースと北コースの2コースを用意しました。毎週金曜日にガイドがそのどちらかを選んで案内しており、好評をいただいております。

南コースの案内場所は膏薬辻子、五條天神宮、菅大臣神社、班女塚など14か所、北コースは占出山会所(木下順庵邸跡)、無名舎、林羅山邸跡、廣野了頓邸跡など16か所です。30か所の内で一般によく知られている名所というのはほとんどなく、駒札や石碑のみの所も、あるいはそれもない所もあり、いかにお客様に喜んでいただける案内をすることができるのかと、担当ガイドは毎回苦心しながらがんばっています。

お客様もいろいろで、京都観光は初めてという方は少なく、三井ガーデンホテルの会員で、京都が好きで毎月来ているという方も結構おられます。これらリピーターの方は、すでに一般的な名所は何回も訪問されており、一人で気の向くままに京都の空気を愉しんで数日間滞在される方もおられます。このようなお客様には一般的なガイドではなく、京町家や瓦、格子、注連縄、そして辻子や路地などの案内を楽しんでいただいております。ややマニアックではありますが、新旧が混在する市内中心部の案内を通じて、お客様により京都を満喫していただければと考えています。(理事 須田 清司)

■ 京都検定1級試験に都草会員2名が10回合格



京都検定対策委員会の寺内博紀と申します。特に10回を目標にしてきたわけではなく、毎年受け続けてきた結果、合格が連続10回になっていたというのが正直なところですので。つまり、都草の活動を続けてきたから得られた結果です。こんなにも素晴らしい環境に私を置いてくださった都草、京都検定対策委員会には感謝しかありません。

入会前には、合格を目指して試験対策講習会を受講し、模擬試験を受けて勉強しました。その後、合格してから都草に入会して、京都検定対策委員会に参加しました。委員会の会議は高度な知識が飛び交い、委員各位の知識見識の深さに驚愕し、遠くて高い山を見るようでした。その他都草の色々な発表にしても、その内容はとても深遠で素晴らしく、やっけて行けるのかと思いつつ、何とかついて行こうと活動を続けてまいりました。そうしているうちに、試験対策講習会の講師をすることになり、悪戦苦闘しつつ現在まで努力しております。講師をする中で、「最近受かった人の講習を聞きたい」との声があり、それなら再度1級を受験してみようと思立ち、更にマイスター制度もあって受け続けてきました。これからも京都通揃いの皆様方から色々教えていただき、自分を高めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(会員 寺内 博紀)



京都検定との出会いは、15、6年程前に京都に来た時に、京都検定の広告を見たのが始まりです。公式の検定テキストブックの中身の濃さに圧倒され、京都に住んだことがない私にはハードルが高く不利な状況でした。とにかく京都に通い、自分の目と足で現地現物確認して少しずつ記憶に留めていくことで、知識を増やすことに努めました。元々日本史が好きで、歴史ある神社仏閣や史跡旧跡の宝物がそこら中にある京都がますます好きになりました。1級に合格するまでに5年、その途中で都草の1級対策講習会がある事を知り、詳細な都草のテキストに感動し、バイブルとして勉強しました。5年前に都草に入会し、当時は東京在住のため、京都検定対策委員会にはリモート会議を提案し参加しました。1級10回合格も都草のおかげと

感謝しています。

昨年7月に定年退職し、単身赴任先の東京から地元広島には戻らず、そのまま憧れの京都に引っ越してきました。今後も委員会活動への貢献と1級チャレンジ、そして京都生活を楽しんで行きたいと思います。

(会員 吉本 真二)

■ 都草の法人会員 彌榮自動車(株) G-1グランプリで優勝



優勝した彌榮自動車(株)の皆さん
左から2人目は商工会議所の糸田佳幸委員長

彌榮自動車(株)様が、昨年12月11日実施の京都・観光文化検定試験(京都検定)の団体戦「京都検定G-1グランプリ」で、第1位の快挙を達成されました。2回目の優勝とのことです。団体申込3級京都検定受験者の上位3名の合計点を競うもので、299点(満点は300点)の正解、素晴らしい正答率です。

当委員会は、平成23(2011)年以降、3級(2級)合格に必要なポイントに重点を置いて社員の皆様のお役に立てるよう務めてきました。グループ会社ヤサカ観光バス(株)の皆様も講座に参加されており、見事、第5位

に入賞されました。(理事 岩崎 勉)